

林業安全コラム

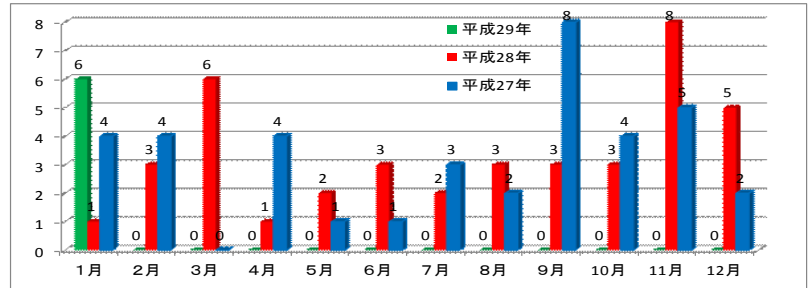
快適な職場に響く合言葉
「健康・安全・ゼロ災害」
(2017年 労働安全衛生年間標語[スローガン])

○ 林業労働災害発生状況について

昨年（H28）の林業における死亡災害発生状況（平成29年2月7日現在速報：厚生労働省）は、前年同時期に比べ死亡者数は2名の増加となっています。また、表にはありませんが、死傷者数（休業4日以上、速報値）については、前年の1,594人より59人少ない1,535人となっています。

年齢別の死傷災害では、前年と同様に60歳以上の高齢者の被災が最も多く、また、30歳～39歳では、前年より被災者数が増加しています。

○林業死亡災害月別発生状況



注：平成27年の発生状況は、労働者死傷病報告（厚生労働省）による確定値。
平成28年の発生状況は、死亡災害報告（厚生労働省）による平成29年1月10日現在の速報値。
平成29年の発生状況は、林野庁調べ（都道府県からの報告による速報値）

年齢別死傷災害（平成27年及び平成28年（平成29年2月7日現在厚生労働省速報））

年	年齢	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～	計
		平成28年	17	153	307	293	296	
平成27年		24	166	294	304	317	489	1,594

事故型別死傷災害（平成27年及び平成28年（平成29年2月7日現在厚生労働省速報））

年	事故型	墜落・転落	転倒	激突	飛来・落下	崩壊・転倒	激突され	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	踏み抜き	高温・低温の物との接触	有害物等との接触	感電	火災	交通事故（道路）	動作の反動・無理な動作	その他（含分類不能）	計
		平成28年	155	170	31	253	76	344	83	313	7	18	2	3	1	10	53	
平成27年	171	192	28	254	72	332	71	362	5	13	4	0	1	14	56	19	1,594	

※ 発生件数が多い上位3事故型を多い順に背景を赤色、黄色、青色で表示
※ 下線は、平成27年より発生件数が増加している事故型

事故の型別では、伐倒作業による被災で激突されが前年同様に最も多く、次いで、チェーンソー等の取扱いによる切れ・こすれ、枝条等の飛来・落下が多くなっています。

死亡災害については、昨年の11月から12月にかけて13件、今年の1月は既に6件発生しており、前年11月から3ヶ月間で既に19件の死亡災害が発生しており、大変憂慮すべき深刻な状況となっています。このことは、事業主の方々は当然現場で働く方々も重く受け止めていただき、今後、災害をこれ以上起きないように作業前のミーティングで、これまでの作業で危険なことはなかったか、まだ、寒い日がある可能性もあるので、注意点をしっかり確認し、これまで以上に災害防止に向けた取組を強化して下さい。

林業死亡労働災害多発警報発令状況（発令期間） 林業・木材製造業労働災害防止協会発表
・北海道（H29.1.1～H29.3.31） ・宮崎県（H29.1.1～H29.3.31）
・鹿児島県（H29.1.1～H29.3.31）

- ・ 林業安全指導者（労働安全衛生法第81条第1項に規定する労働安全コンサルタントの資質を有する専門家）による安全診断が費用負担なしに受診できますので、この機会に是非ご活用下さい。（お問い合わせ：全国素材生産業協同組合連合会 林業労働安全推進対策事務局 TEL:070-6437-1562 E-mail:motojima@zousei-sosei.org）
- ・ 一人親方の労災保険特別加入制度のしおりがありますので、加入をお考えの方は以下のURLをご覧ください。
<http://www.mhlw.go.jp/new-info/kobetu/roudou/gyousei/rousai/040324-6.html>
- ・ 林業退職金共済制度は掛金の税法上や国や自治体等の補助などの優遇措置がありますので、林業現場で働く方々の加入のご協力をお願いします。

林業労働対策室労働安全衛生班

TEL:03-3502-1629